

災害名	平成28年（2016年）熊本地震	災害年月日	2016年（平成28年）4月14日～16日
主な被災地	熊本県熊本・阿蘇地方、大分県中部	災害の種類	地震

マグニチュード	6.5、7.3
死者	270人（熊本県） 3人（大分県）

出典：消防庁  
(H31.4.12時点)

凡例

■：災害の痕跡

地震・津波

風水害

土砂災害

高潮

火山災害

その他

### 災害の概要

同一地域で震度7の激しい揺れが2回連続で発生した。気象庁での観測史上初の直下型地震。震源から離れた地域でも大規模な誘発地震が発生するなど、過去に例をみない地震活動。

余震の発生回数は過去最大で、大きな余震も多発。震源地に近い熊本市、益城町、西原村、南阿蘇村を中心に各地で甚大な被害が発生した。

全体で死者273人、負傷者2,809人、住家全壊8,667戸（うち熊本県8,657戸、大分県10戸）、半壊34,680戸等の被害があった（消防庁情報：H31.4.12現在）。

### 防災対策

#### ○公共

- 熊本県 統合型 防災情報システム（熊本県）  
<http://www.bousai.pref.kumamoto.jp/>
- 県内の土砂災害警戒区域等指定状況（熊本県）  
[http://www.pref.kumamoto.jp/ki\\_ji\\_9020.html](http://www.pref.kumamoto.jp/ki_ji_9020.html)
- 熊本市ハザードマップ（洪水・高潮・地震・津波・液状化）（熊本市）  
[https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c\\_id=5&id=2121](https://www.city.kumamoto.jp/hpkiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=2121)
- 防災マップ（阿蘇市）  
[http://www.city.aso.kumamoto.jp/disaster/disaster\\_prevention\\_map/](http://www.city.aso.kumamoto.jp/disaster/disaster_prevention_map/)
- 防災お役立ちサイト ～災害予防編～（益城町）  
[https://www.town.mashiki.lg.jp/bousai/ki\\_ji0032446/index.html](https://www.town.mashiki.lg.jp/bousai/ki_ji0032446/index.html)

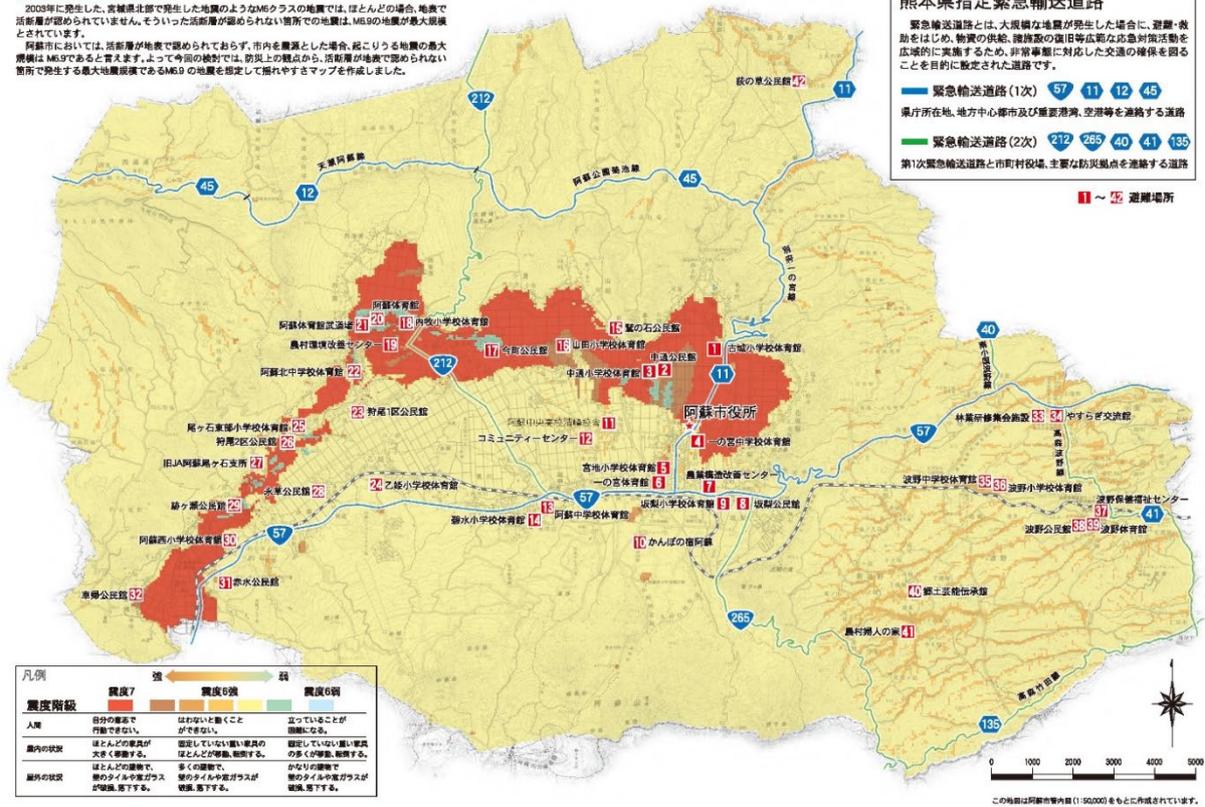
防災対策

〇揺れやすさマップ (阿蘇市)

■想定した地震規模

2003年に発生した、宮城県北部で発生した地震のようなM6クラスの地震では、ほとんどの場合、地震で活断層が認められていません。そういった活断層が認められない箇所での地震は、M6.9の地震が最大規模とされています。

阿蘇市においては、活断層が地震で認められておらず、市内を震源とした場合、起こりうる地震の最大規模はM6.9であると見られます。よって今回のマップでは、防災上の観点から、活断層が地震で認められない箇所が発生する最大地震規模であるM6.9の地震を想定して揺れやすさマップを作成しました。



〇防災ハンドブック (熊本県)

地震 災害から身を守る

日頃の備えが大切

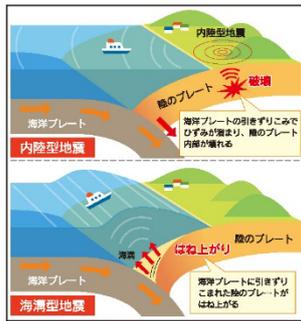


わが国は世界有数の地震国であり、これまで何度も地震に襲われ、大きな被害を受けてきました。地震は突然発生するので、日頃の備えが大切です。

こうして起こる！ 地震発生のメカニズム

日本は世界有数の「地震国」です

- 日本は、世界の陸地の0.3%にも満たない国土ですが、世界で発生する地震の約10%が日本とその周辺で発生しています。
- 地震には、活断層で発生する内陸型地震や、プレート(固い岩石の層)同士の境目付近で起こる海溝型地震があります。
- 地震は突然発生するので、いつ、どこで起こるかを正確に知ることは困難です。



地震災害発生の事例

熊本県にも「活断層」があります

- これまで日本は何度も地震に襲われ、大きな被害を受けてきました。
- 熊本県でも、地震による死者や負傷者が発生しています。
- これまで繰り返し地震を起こし、今後も地震を起こすと考えられている断層を「活断層」といいます。
- この活断層は熊本県にもあり、備えが必要です。

【熊本県の主な地震災害(明治以降)】

1889年(明治22年)7月28日  
発生場所：熊本付近  
地震規模：M6.3

2016年(平成28年)4月14日  
発生場所：熊本地方  
地震規模：(4/14)M6.5  
(4/16)M7.3  
最大震度：(4/14)7  
(4/16)7

日頃の備え

備えることで危険は減らせます

家具の固定

- 家具の固定は、今すぐできる地震対策です。家具が転倒や移動をしないように、しっかりと固定しておきましょう。
- 家の中に閉じ込められないように、家具の向きや配置を工夫しましょう。
- ガラスには飛散防止フィルムを貼りましょう。



消火の備え

- 火災発生に備えて、消火器を準備しておきましょう。

住宅の耐震化

- 耐震診断を受けて、必要な補強をしましょう。

家族間での話し合い

- 離れ離れになった場合の安否の確認方法を決めておきましょう。
- 避難場所や避難経路を確認しておきましょう。
- 防災に関する講演会などに家族で参加しましょう。

地震が起こったら...

「身の安全」を最優先に行動を

屋内にいるとき

- 揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身を隠しましょう。
- 揺れがおさまるまでは、あわてて外へ飛び出さず、落ち着いて行動しましょう。
- 揺れがおさまったら、あわてずに火の始末をしましょう。
- 割れたガラスなどを踏んでけがをしないように、スリッパや靴を履いて移動しましょう。

屋外にいるとき

- カバンや手荷物などで頭を保護し、公園や空き地など落下物の危険のない安全な場所へ避難しましょう。

車を運転しているとき

- 徐々にスピードを下げ、ゆっくりと道路の左側に車を止めましょう。
- 車を離れるときは、キーをつけたままにして、徒歩で避難しましょう。

電車やバスに乗っているとき

- 座席に座っているときは、頭を保護して姿勢を低くしましょう。
- 立っているときは、転倒しないようにつり革や手すりにつかまりましょう。

資料  社会資本  状況写真  絵画  文献  その他

地震・津波  
風水害  
土砂災害  
高潮  
火山災害  
その他

○社会資本整備



▲土砂崩壊・落石対策による被害の軽減 (阿蘇市滝室坂地域)



▲みんなの家 (仮設団地) (西原村)



▲俵山トンネル開通式

○状況写真



▲阿蘇神社



▲熊本城



▲健軍商店街



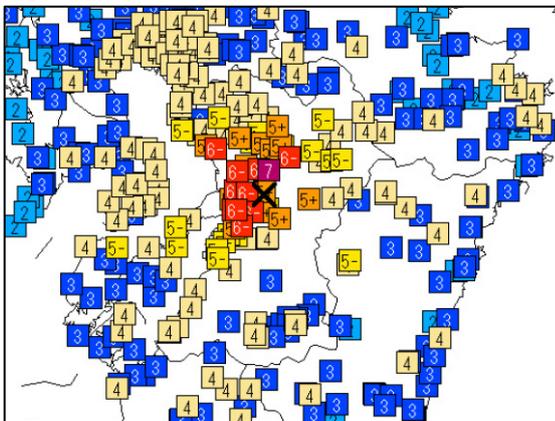
▲地盤の亀裂、地滑りによる支持物の傾斜



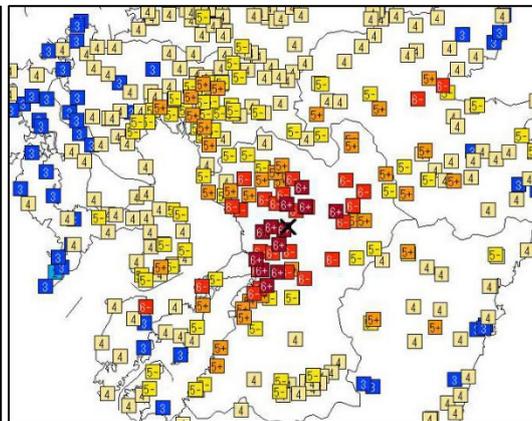
▲大規模な崩壊 (南阿蘇村)

○震度分布図

画像出典：「平成28年 熊本地震災害記録誌」九州地域づくり協会



▲前震の震度分布図 (平成28年4月14日21時26分発生)



▲本震の震度分布図 (平成28年4月16日01時25分発生)



画像出典：「平成28年(2016年)熊本地震」について(第7報) 気象庁

○参考文献

- ・「平成28年 熊本地震災害記録誌」九州地域づくり協会 (2017年発行)
- ・「理科年表H29年版」国立天文台編 (2016年発行)

○参考サイト

- ・「平成28年(2016年)熊本地震の関連情報」気象庁  
[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/2016\\_04\\_14\\_kumamoto/index.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/2016_04_14_kumamoto/index.html)
- ・「熊本県熊本地方を震源とする地震(第121報)」消防庁  
<https://www.fdma.go.jp/disaster/info/items/kumamoto.pdf>